

# お誕生おめでとう

赤ちゃん	性別	出生月日	父	母	地区
黒岩 千聖	女	7.3	久志 絵里	⑤ 蕪生野	
山中 博翔	男	7.4	智史 宏美	⑤ 吉野	
清岡 希美	女	7.24	歩 理代	④ 秦山町2	
杉本 夏樹	男	7.25	光啓 愛	④ 駅前町	
黒岩 祥成	男	7.28	幸宏 真由	④ 東本町4	

## 木材市況

材長	樹種	スギ(円/m)		ヒノキ(円/m)	
		直・小曲	曲	直・小曲	曲
4 m	12cm下	9,000	9,000	11,000	10,000
	13cm~14cm	9,000	9,000	14,000	10,000
	15cm~16cm	11,000	9,500	19,500	15,000
	18cm~22cm	13,500	12,000	17,500	15,000
3 m	12cm下	8,000	8,000	10,500	9,500
	13cm~14cm	8,000	8,000	11,500	9,500
	15cm~16cm	13,000	9,500	17,500	14,500
	18cm~22cm	13,500	12,000	16,500	14,500
2 m	20cm上	8,500	8,000	9,000	8,500
6 m	18cm~22cm	18,000	16,000	25,000	23,000

徐々に出材は増加傾向。災害後から天候に恵まれ虫害が少なくスギ、ヒノキ共に強含み。低質材はスギ、ヒノキ共に4mの造材をお願いします。

スギ・ヒノキ共に3m4mで直材になるような造材が有利。曲が入る場合は4mで。伐採後は早めの出材をお願いします。

営業時間 月曜日～金曜日 8時～17時(祝祭日休み)

なお、上記の単価は1㎡あたりの平均単価です。

**【問い合わせ先】**  
 物部森林組合ストックヤード  
 (物部町中谷川314) ☎57-3540  
 香美森林組合国見支所/繁藤ストックヤード  
 (土佐山田町繁藤140-7) ☎57-9114

## ご冥福をお祈りします

お名前	性別	亡月日	享年	地区
川村 武士	男	7.9	92	④ 戸板島
竹田 春美	女	7.10	98	④ 神池
中西 艶子	女	7.10	91	④ 秦山町1
岡本 登志彦	男	7.12	87	④ 久次
岡林 和雄	男	7.15	68	④ 宝町5
山崎 昭男	男	7.16	87	④ 東本町4
北村 静尾	女	7.17	86	⑤ 五百蔵
小松 秀美	女	7.19	89	④ 根木屋
中谷 美佐	女	7.21	81	④ 栄町
黒岩 清水	男	7.23	96	⑤ 梅久保
大石 照子	女	7.23	92	④ 神母ノ木
山本 康子	女	7.24	92	④ 久次
筒井 みち	女	7.24	70	④ 百石町1
恒石 敏夫	男	7.26	84	⑤ 吉野
黒岩 重利	男	7.27	92	⑤ 梅久保
青木 政子	女	7.28	92	⑤ 大井平
北川 健	男	7.31	90	④ 西本町3
吉田 公一	男	7.31	89	④ 旭町4

※地区名の④は土佐山田町、⑤は香北町、⑥は物部町です。  
 ※ご家族の同意をいただいた方のみ掲載しています。

## 市の人口

平成30年8月1日現在

総人口	26,384人	男	12,364人	女	14,020人
前月比	-17人		1人		-18人
山田	20,072人	香北	4,492人	物部	1,820人
前月比	-16人		5人		-6人
世帯数	13,087世帯	転入	40世帯	7月 出生	6人
前月比	-3世帯	転出	33世帯	届出 死亡	27人



香美市文芸

【短歌】

岡崎 桜雲 選

一人居の安居いづれに例えやう嫁荷まとめて断捨離をせむ  
 ヨシキリの声に立ちたり波介川も足衰へてただ思ふのみ  
 沢蟹を見付け小石を裏返しはしやく子等はこれも教室  
 学徒動員の兄は生徒を引率し十九で空襲の犠牲となりぬ  
 逆走の台風過ぎて七月も終わりの庭にちょうは美し  
 朝の戸を開けばどつと蟬の声この日の幸を願いてしばし  
 好きな事楽しい事やうて見るこれが良きかも自律神経  
 川音は荒々しくもクマ蟬も飲み込み里は静かなりけり  
 キュー園の五弁の椿にほひけり友の手づくり新聞バッグ  
 彼岸花土手に群れなしゆれ動く幼き日々にかえるひととき  
 寄り会えば忘れた話に笑いこけ当たり前よと怖きこと言う  
 平井道木々の隙間に白髪山富士の形で吾を捉へり  
 お日さまと海水浴と砂の城二才の孫の歓声響く  
 雨降れば何もすることみつからず八十路すぎの頭はにぶい  
 水無月の雨に打たれて競い咲くあじさいの青目に沁みる朝  
 色かさねし曾孫の絵描き残りたり笑顔で手を振り帰る夕ぐれ  
 あと一歩で勝利を逃した選手らは見ているだろうか今夜の月を  
 「あの雲はアンパンマンに似てゐるよ」思ひもかけぬ夫の言葉  
 濁流は自然も暮らしものみこめり被災の人ら強く生きてと  
 時季くれば山には山の花が咲く二人静や雪もち草も  
 皮剥けばこころ転がる青い豆豌豆ご飯に匂を味わふ  
 田植機を繰る息の背を風撫でる亡夫の面影かすかに浮かぶ

大岸由起子 岡村 敏子 岡本 初美 小松 隆之 坂上のぶ子 原 茂 中村 紫乃 西野地 薫 盛岡 雛子 森本 幸美 山崎 貴子 五百蔵利美 公文 千恵 谷内 務 吉本 悦子 大石 綾子 武内 弘子 松中 賀代 小松 禮子 林田 幸子

白寿荘に毛筆教えて二十年バトンタッチをする歳となり  
 炎天に泥水掬ふ人らあるを思ひつつ冷房のスイッチを押す  
 タイの洞窟に閉ち込められたる少年ら生還せる記事涙して読む  
 風に揺れる夏椿の花を窓に見て何を願はむ人は独りか  
 足のため三千五百歩歩いたが四十分もかかるとはまあ  
 海峡ふたつ朝超え来て若狭道へ友ありて行く越前岬  
 残す枝落とす枝定めて刈りてゆく歌詠むことに似る思ひして  
 山菜をさがして凝らす目の先に春蘭咲けりふたつ清らに  
 釣竿を不動の姿勢で持つ夫我が写生画五十年前のもの  
 わが妻の遺しし日々の足跡を友は絵本に創ってくれぬ  
 窓開けて朝の空気を吸いおれば白鷺すいすい横切り行きぬ  
 北山の山々渡る送電線何処から何処まで続くのかな  
 十八年共に暮らした愛猫が眠ることく逝く風薫る朝  
 解れゆく無垢の輝き白木蓮空に高々咲き揃ふなり  
 夕日浴び光る浜辺を駆けてくる小さき足跡波の消しゆく  
 若き日に夫婦で造りし花壇には一木一草家族の足跡  
 葉わさびの佃煮を食むたつた今生まれしやうにほかほかになる  
 伐られたる榎の根元ひこばえのはやくも出でて命たくまし  
 通り雨過ぎて青空あざやかに光差し込む私の心に  
 人間に刈られる稗は何思ふ稗と稲とは共存できぬ  
 梅雨季と思えぬ風が吹き抜ける畑仕事を止めて受けおり  
 手づくりのマーメイドぬりパン食めば元氣もりもり笑顔咲く朝

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月1日までに、「ご応募ください。【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係 〒782-8501(住所記載不要) FAX 53-5958

門田 明子 古川 安子 公文 正子 小松もとみ 柿田 我里 佐竹 玲子 都築 初代 佐々木真里 古谷 由美 宮地 亀好 小松 信子 鍵山 春子 刈谷美代子 岩井 純子 秋 星 寺内 啓子 町 耿子 明石 敬恵 吉川 恵 中村 佐代 野村 典子 小松 美鶴